

「埼玉県自治体公共施設マネジメントセミナー」

主催 株式会社埼玉りそな銀行/株式会社公共ファイナンス研究所

後援 埼玉県/(財)埼玉りそな産業協力財団

開催趣旨

高度経済成長時に建設した学校・市庁舎等の公共施設や下水道等の都市インフラが老朽化し、膨大な更新費用が自治体経営の大きな課題となっています。更新にあたっての財政負担を軽減する有効な方途として民間のノウハウと資金を活用する公民連携(PPP:Public Private Partnership)が注目されています。全4回にわたる本セミナーでは、本分野の有識者による企画・コーディネートで、埼玉県及び埼玉縣市町村の公共施設/都市インフラの更新と公民連携のあり方について講じます。

セミナー概要

本セミナー参加自治体の公共施設マネジメント/公民連携の推進の契機となるよう、講義/ケーススタディ/実習による全5回の構成とし、はじめに公民連携の考え方と手法を説明し、公共施設マネジメント及びPRE(公的不動産)戦略をあわせ、諸事例を取り上げます。そして、先進的に公民連携と公共施設マネジメントに取り組む4つの自治体にご報告いただき、具体的に推進するにあたっての留意点と課題を明らかにします。また、参加自治体に事前に調査表を配布し公共施設の老朽化度合いを大まかに把握した上で、簡易的な公共施設マネジメント白書の作り方を学びます。

第1回 2010年11月11日(木)13時30分~16時30分

「社会資本老朽化に伴う更新投資財源問題とPFI/PPPの活用」

- 根本祐二(東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻教授)

「公民連携によるPRE戦略:公会計からアセットファイナンスまで」

- 阿部博人(株式会社公共ファイナンス研究所代表取締役)

第2回 2011年2月(日程が決まり次第お知らせいたします。以下同様)

「宮代町-公共施設マネジメント計画の概要」

- 井上正己(宮代町総務政策課財政担当)

「秦野市-公共施設白書から公共施設再配置計画へ」

- 志村高史(秦野市企画総務部公共施設再配置計画担当)

第3回 2011年4月(予定)

「習志野市-公会計基準モデル/固定資産台帳と公共施設マネジメント白書」

- 吉川清志(習志野市財政部経営改革室室長)

「藤沢市-公民連携事業化提案制度の概要」

- 阿部博人(藤沢市市民経営推進アドバイザー、公共ファイナンス研究所)(敬称略)

第4回 2011年5月(予定)

「公共施設マネジメント白書をつくる」

- 参加自治体に事前配布した公共施設老朽化度合い等の調査票に基づき、いくつかの事例について集計方法や公共施設マネジメント白書への簡易的なまとめ方について実習します。

会場： 埼玉りそな銀行 本社 さいたま営業部 2階大会議室（第1回）
（埼玉県さいたま市浦和区常盤 7-4-1）

参加費： 無料

お申込： 別紙申込書にご記入の上 FAX にてお送り下さい。

お問い合わせ： 埼玉りそな銀行 公共法人部
TEL： 048-835-1701・1713
担当：若島グループリーダー/柿沼グループリーダー
春日マネージャー /坂本マネージャー

団体概要/講師略歴

株式会社埼玉りそな銀行概要（<http://www.resona-gr.co.jp/saitamaresona/>）

財団法人埼玉りそな産業協力財団概要（<http://www.sarfic.or.jp/>）

東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻（<http://www.pppschoo.jp/>）

- 日本で初めての PPP を専門とする社会人大学院として 2006 年 4 月にスタート、“豊かな公共、小さな政府 間をつなぐ PPP”をメッセージとして研究・教育活動を行っている。

根本祐二略歴

- 東京大学経済学部卒業、日本政策投資銀行地域企画部長を経て現職。内閣府・国交省等委員、藤沢市等公民連携/公共施設再整備委員会委員長等。

株式会社公共ファイナンス研究所（<http://www.public-fi.co.jp>）

- 公会計/PPP/不動産/金融のノウハウに基づき PPP の普及啓発と公共施設更新及びファイナンスの調査研究/コンサルティングを行っている。

阿部博人略歴

- 北海道大学法学部卒業、松下政経塾第 4 期修塾。経営コンサルティング会社等を経て現職。東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻修士課程修了。